

教科	科目	単位数	学年	集団
商業	簿記	5	1	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
新簿記（実教出版）	最新段階式簿記検定問題集 全商3級（実教出版） 最新段階式簿記検定問題集 全商2級（実教出版） 全商簿記実務検定模擬試験問題集 2級（実教出版） 全商簿記実務検定模擬試験問題集 2級（とうほう） 全経簿記3級直前模試（英光社）

科目の目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を身につける。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。
②思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身につける。
③主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	
①知識・技能…定期試験、小テスト ②思考・判断・表現…定期試験、提出物の点検 ③主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み状況	

学習計画						
月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	簿記の原理	簿記の概要	①簿記の原理について理解し、関連する技術を身につけている。 ②取引を記録する意義について、企業活動の展開と関連づけて表現することができる。 ③簿記の原理について自ら学び、取引の記録を適正にしようとしている。	○	○	○
		簿記一巡の手続				
		会計帳簿				
5	取引の記帳	現金と預金	①取引の記帳について理論と実務を関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につけている。	○	○	○
		中間試験		○	○	○
6		債権・債務と有価証券	②取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて表現することができる。			
		商品売買 販売費と一般管理費 固定資産				
7		期末試験	③取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
		個人企業の純資産と税				

9	夏課題試験			○		○
		特殊な手形 その他の取引				
	中間試験①			○		○
10	決算	決算整理 財務諸表作成の基礎	①決算について理論と実務とを関連づけて理解している。 ②決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、根拠に基づいて表現することができる。 ③決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表を作成しようとしている。	○	○	○
	中間試験②			○	○	○
11	本支店会計	本店・支店間取引と 支店間取引 財務諸表の作成	①本支店会計について理論と実務とを関連づけて理解している。 ②本支店会計に関する取引の記録と財務諸表の合併方法についての課題を見だし、根拠に基づいて表現することができる。 ③本支店会計について自ら学び、適正な本店・支店間取引と支店間取引の記録及び合併財務諸表を作成しようとしている。	○	○	○
	期末試験①			○		○
12	株式会社取引	株式会社の取引 財務諸表作成	①株式会社の取引について理論と実務を関連づけて理解している。 ②株式会社に関する取引についての課題を見だし、根拠に基づいて表現することができる。 ③株式会社の取引について自ら学び、記帳方法について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	期末試験②			○	○	○
12	記帳の効率化	伝票の利用 会計ソフトウェアの活用	①記帳の効率化について理論と実務とを関連づけて理解している。 ②記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見だし、根拠に基づいて表現することができる。 ③記帳の効率化について自ら学び、伝票の利用と会計ソフトウェアについて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
1	冬課題試験			○		○
	問題演習		①これまでに学習した内容について、理論と実務を関連づけて理解している。	○	○	○
	全商簿記実務検定2級（全員）					
2	問題演習		②これまでに学習した内容について、課題を見だし、根拠に基づいて表現することができる。 ③これまでに学習した内容について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
	全経簿記能力検定3級（全商未取得者）					
3	学年末試験			○	○	○
	1年間の振り返り		③1年間を振り返り、次年度に向けて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○